

広報

No. 99

くらみ

昭和56年 9月15日

発行・編集 国見町企画課

おもな内容

生きがいのある老後を.....	2~3
ピッカピッカのふじた小.....	4~5
あの人この人.....	6
— 鈴木美一さん —	
台風直撃.....	8
公民館だより.....	10~11
わだい.....	12



'81

9月

ぼくらは入居第1号

大切に使います — 藤田小学校新校舎で —



9月15日は敬老の日

生きがいのある 老後を

九月十五日は「敬老の日」、またこの日から一週間は「老人福祉週間」です。いまわたしたちの町には、七十歳以上のお年寄りが千五十五人います。高齢者の割合は町全人口の一〇%弱となっています。お年寄りそれはなにもお年寄りだけではないテーマであり、そしてまた社会全体の課題でもあるのです。

明治
知恵

大正
ロマン

昭和
行動力

“一人の老人を借りよ”

老人の「生きがい」とは何でしょうか。総理府老人対策室の行った「老人の社会参加に関する調査」(昭和五十三年)によりますと、

トップは「息子や孫の成長で三二%、二位が「職業・仕事」の二三%、「趣味・娯楽」が一五%と続いており「社会活動」をあげた人はわずかに四%に過ぎません。そして問題なのは「生きがいを持たない」と答えた老人が二九%もあるという事実です。

「息子や孫の生長だけ」と「生きがいなし」を加えますと、実に六〇%にもなり、ここに受身で孤独

な「現代の老人像が浮かび上がってくるのです。ギリシャの古い諺(ことわざ)に「家に一人も老人がいなかったら一人借りよ」というのがあります。つまり老人の長い人生の経験で培われた知恵は、人間社会の中で不可欠だということを意味するのでしょう。

これを現代の日本に置き換えるなら「明治人の知恵と、大正人のロマンと、昭和人の行動力」で、明るく生きがいのある社会を作り出そう、ということになるのではないのでしょうか。

熟年
「老いる」のではなく「熟す」のです

「まず老後とは――「まず健康で、暮しに困らなくて、グチを言わなくてすむ生きがいのある生活が送れること」と、だれもが口をそろえます。

衣・食・住だけでなく、医・職それにプラス生きがいが保証された暮らしこそ、よき老後というようになります。経済面での安定と丈夫な体そして生きがいとおとしよりの自立するためには、この三つが不可欠といえるでしょう。

総理府統計局の「老年人口の現況」(昭和五十五年)によりますと、六十五歳以上のお年寄りが、
「職につきたい」と思う理由としてあげているのは次のようなものです。

生活をより豊かにしたい 29%
生活費を得たい 17% 余暇ができた 14% 知識や技能を生かしたい 8%
こうした回答からもわかるように、職を求めることによって日々の生活を充実させ、これまでに身に付いた知識や技術を社会に役立てたいと積極的な意欲がうかがえます。

熟年「老いる」のではなく、「熟す」。この言葉がお年寄りの心境を端的に物語っているといえないでしょうか。

生きた字引

松浦金助さん

へしらかばアおぞら、みなみか
ぜ……ご存知千昌夫のヒット曲、
北国の春。明治・大正・昭和の主
だつた流行歌は何でも歌えます!!



何でも学者

佐藤アキさん

政治・経済・文化……チヨット
耳が遠いので、若い衆と議論はで
きないが、今日のニュースや昨日
のことは何でも知ってますヨ!!



敬老長壽番付



<p>東</p> <p>横綱 松浦金助 九四 大関 内谷鴨田惣太郎 九三 関脇 貝田阿部勇之丞 九三 小結 森山吉厚 九二 前頭 川内鈴木朝治 九一 貝田大沼慶一 九一 后部 松浦吉次 九一 山崎高橋松吉 九一</p>		<p>蒙御免 昭和五十六年 九月十五日</p> <p>行佐藤善右門 佐野正治 司 藤三郎 佐藤知子</p>		<p>西</p> <p>関脇 徳江達田セン 九三 前頭 小結 茶村上やう 九三 前頭 小坂渡邊チヨ 九三 貝田松田チン 九二 岩野渡谷ヒデ 九二 后部 齋藤ウヰン 九一</p>		<p>前頭 高城佐藤由助 八八 高城安田平吉 八八 光野加藤萬拙 八八 貝田佐藤繁三 八八 茶村松浦喜一郎 八七 徳江八巻徳太郎 八六 茶村松浦繁一郎 八六 后部 佐藤勝太郎 八六 山崎吉田栄作 八六 山崎佐藤吉郎 八六 同 同 同 同 同 同</p>		<p>前頭 茶村上チン 八六 泉田佐藤ミヨシ 八六 茶村松浦クニ 八六 森山吉田ミサ 八六 山崎古山クニ 八六 藤田黒田ヤス 八六 小坂朽木たみの 八六 藤田佐久間まさ 八六 山崎鴨田モト 八五 更坂菊地ふ上 八五</p>	
--	--	--	--	---	--	--	--	---	--

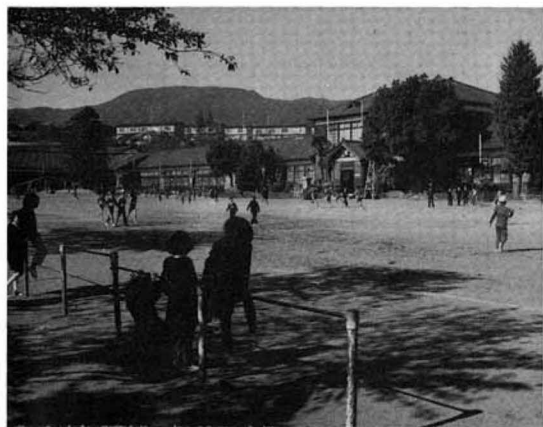


▲完成間近い新校舎

ピッカ ピッカの ふじた小



◀私が主役よ、いやボクだ
いいえ新校舎です



◀今はない旧校舎



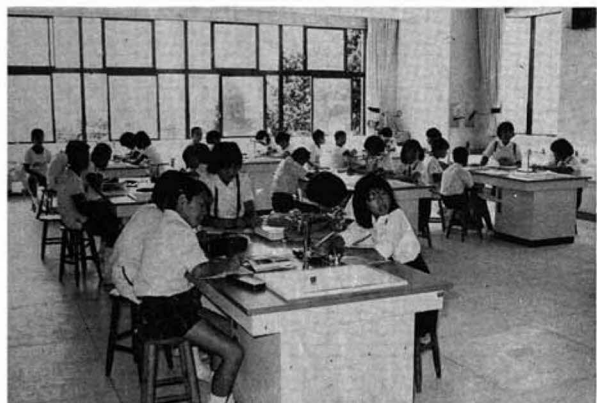
▶バルコニーで



▲勉強もバッチリ、普通教室



▲設備の整った放送室



◀広々として、明るい理科室

町で三番目の永久校舎、藤田小新校舎は玄関部分と校舎前通路の最終工事が進み、10月中には完成する。

鉄筋コンクリートづくり3階建て総面積は4,046㎡、総工費約5億7千万円のデラックスな校舎である。東西の両そでにある特別教室と中央にあるバルコニー部分が細長い校舎を引き締めるアクセントで個性ある外観となっている。内部は、明るく解放的な教室群、そして、ローカ側の教室の窓をなくし作品掲示壁面を多くしたり、教卓の真上に鏡を取り付けた理科室など随所に工夫の跡が見られる。

使用は2学期始めから。子どもたちの使用感「とても広々としている」、「水洗トイレになってうれしい」とおおむね良好。一方「階段昇降で疲れる」、「火災報知器類のさわつていけないものがたくさんあり伸び伸びできない」などのまだ新校舎に慣れないための不満もある。



▲ボクはこの校舎満足だなあ！

県勤労者美術展 県労政協会賞に玉鳳さん

第二十回県勤労者美術展は九月三日から六日まで福島市の県文化センターで開かれました。

国見町からは佐藤玉鳳(軒二)さんが「雨後の半田山」を出品し、見事県労政協会賞を受賞しました。

この日出展された作品は、日本画、洋画、書、写真の四部門で、合わせて三百八十一点が応募され、うち五十三点が入選しました。佐藤さんは今まで七回応募し、六回受賞の栄に輝きました。現在は福島県美術家連盟会員として活躍し、町の文化の向上につくしてきます。



喜びの佐藤さんと入賞作品

あの人この人

49

久しぶりにお会いしても少しも変わらず、年をきいてびつくり七十八歳。敬老の日が近いがそのイメージから程遠い若さである。反対に「いいお父さんになりましたね」と奥さんはいわれこちらがガックリ。この人、鈴木美一さんは四年前、国見を離れ、生れ故郷の福島市方木田に転居したが、「国見とは一線縁が切れない」というほどつながりがある。半世紀も前の昭和五年に小坂小に教頭として赴任したのがその始まり。昭和三十年に小坂小学校長を最後に教員生活に別れを告げたが引き続き町の社会教育主事、公民館主事として社会



教育を担当した。手間、暇をいわず町民に広く接し社会教育を身近なものにした功績は大きい。公民館の学習講座「明治学級」の盛況ぶりや、今回縮刷版として刊行された「公民館報」に「の親しみやすく、しかもユニークな記事にその足跡が十分しのばれる。学校、公民館時代を通じての教え子は数えきれないほど、国見はまさに第二の故郷以上のものである。去る八月八日、郷土史研究会創立十周年記念の総会が町公民館で盛大に開かれた。この十年間の会の足跡をふり返る一方、いままでの実績を基礎として今後の発展を

郷土史研究会を支えて 鈴木美一さん

全員で期した。事務局長をすつと務めている鈴木さんはこの会の生みの親、育ての親といつても過言でない存在である。昭和四十五年に町村合併二十周年記念事業として町史編纂さんが決定され、設置年町史編纂室が設置されると鈴木さんはその嘱託として編纂室の事務局を担当、まず資料収集とその整理に取りかかった。それには町史編纂さんの意義を町民に広く知ってもらい協力を得ることが基本となる。このため、「ふるさとを愛する」ことはまず「知る」ことであり、町史をつくることにもっと関心をもってそれに皆で参画しようとする有志に郷土史研究会の結成を呼びかけ、昭和四十六年七月、同会が誕生した。このように、この会は町史編纂さんの協体制づくりの過程で生まれたものである。会の活動は、万を越す資料収集や遺跡の発掘調査などの協力に結びつき、町史全四巻完成の陰の力となった。また、公民館わきの、県指定重要文化財「佐藤家住宅」の移築復元の際には、町の担当者として、また郷土史研究会員として陣頭に立った。「発見から復元まで、所有者から

地元の協力会、研究会員、そして職人の皆さんの協力があったからこそできた。すずかふんじまで真黒くなった解体作業がなつかしい」と当時を振り返っていた。古民家の調査、設計監理にあたった東北工大草野教授も後に「地域の人の理解と協力ももっとも必要なる事業に、郷土史研究会、地元部落の協賛会が感奮して仕事を進めた最良の事例で感動させられた」と述べている。七ヶ宿街道添いの価値ある古民家がほとんど保存の道がなく取りこわされるといふ声をきくように文化財保護の道は険しいからだろう。

「国見はよいところだ。振り返るべき文化遺産がいっぱいある。会員に、あるいは町民全体に文化財保護思想がもっと定着して欲しい。前進にはまず足元を見つめることだ。そして、一人の百歩前進よりも百人の一步前進が好ましい」という鈴木さん。

創立から十年、町史完成後はその町史を使って郷土の研究を続ける会。その成果は鈴木さんが編集する会報に結果し本年で十二号を数える。「この十年間の歩みを細かに記録したい」と張り切る毎日。方木田老人クラブ会長として自ら行動する老人づくりに忙がしい。福島市方木田上原一〇の西女前の住いに一家六人ぐらしである。

国見の城と館

題字は秦助役

⑤

歌丸屋敷



歌丸屋敷要図

福島県歴史資料館所蔵
小坂村地籍図によって作成

所在地 小坂字北畠

歌丸屋敷は現在の小坂字北畠に位置する単漆単郭式の平地館である。木落山に源を発する瀧川によって形成された扇状地の扇端部にある。

要図は明治初期に作成された「小坂村地籍図」の地割と、現地踏査によって復元したもので、東西一四〇m、南北一四mと略長方形をなし、土塁幅は七・〇m、高さは一・五m(実測)、水溝は北西の隅に現在溜池として利用されている所は六〇mを量り、他は一六mほどであった。

漆水は瀧川から堰上げられた江堀から取水され、下流地水田の灌溉用水にあてられていた。北と南側の水溝は瀧川の流れ川跡の低地を利用して廻られ、土橋によって

水位の調整がなされていた。

屋敷跡は現在も歌丸屋敷と呼ばれており、戦国期における歌丸帯刀の居館である。

歌丸氏は出羽国長井庄歌丸郷(現山形県長井市歌丸)を本拠とした氏族で、本姓は不詳長井氏の旧臣と思われる。室町時代の初め伊達宗遠、政宗の長井侵攻によって長井氏が亡んだ後に、伊達氏に服属したものであろう。

歌丸郷は最上川とその支流白川との合流地南側に位置する平地上の村落である。

奥州の応仁の乱ともいわれた、奥州守護伊達種宗と晴宗の父子間で争われた天文の乱では、歌丸氏一族の帯刀、又七、若狭守はいずれも晴宗について所領を安堵させ

れている。

これを「伊達時宗地下賜録」によってみれば、又七、若狭守の所領は長井にあり、帯刀の所領は伊達郡の大石郷(現雲山町)の古内屋敷と半田郷(現桑折町)のうた田在家、及び居館である舞田郷(現小坂)の歌丸屋敷が安堵されている。と、所領地の加恩に預つてゐる。

これら歌丸氏一族間の嫡、庶流の關係は詳らかでないが、帯刀家は本拠を長井から伊達郡に移した庶流家と思われる。降つて藩制時代に書かれた「伊達世臣家譜」には、歌丸氏の記載がない。天正一九年の伊達氏の大崎移封に従がわずに帰農したか、あるいは絶家となったのかその末路は明かでない。

この地方における中世の文書には、中小地頭(武士)の住居は、屋敷、百性の住居は在家と呼ばれる。当時の館はこの歌丸屋敷の如く、本来は何々屋敷と呼ばれるのが普通であった。

現在歌丸屋敷の遺構は西側の土器と、その外側の水溝跡が溜池や水田として旧状が現存しているが、他の部分の遺構は現存しない。かつての郭内は安藤金作・安藤三夫・赤坂喜一・安藤清俊氏の家庭地となっている。

参考文献：前回に挙げたものを使用したので省略

菊池利雄

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(奥側1からお入り下さい)

時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

(相談員)

- ◆9月25日(金)吉田 忠 吉野 容子
- ◆10月5日(月)吉田 正雄、築瀬 貞子
- ◆10月15日(木)阿部 俊恒、佐藤 マサイ

善意の窓

町社会福祉協議会に

◆故玉手豊元さん(中部)のご遺志 十万円

献血ありがとうございます

八月三十一日の献血者

- (一般協力) 安産富士夫、渡辺春、松々木治郎、安藤トシエ、後藤孝、大津森治、安藤トシエ、森林喜助、佐野昭一、半沢豊一、鈴木登志、松浦悠一、木村ナヲ、木村昌隆、佐藤重男、矢野ナヲ、大友文一、賀藤重一、氏家吉一、実志恵美子、松浦富子、阿部淳一、伊東芳子、福尾和子、吉田トキ子、菅野ハルエ、高橋ヨシ、高橋隆彦、佐藤一子、穂高裕二、穂高栄治
- (国見ガス) 鈴木廣成、八巻千代子、木村博良、大槻清、谷口照子
- (国見電子) 高藤登美子、八巻成子、佐藤孝子、鈴木道子、高橋三代子、岡田孝子、佐藤リエ子、矢野キミ子、嶋田福彦、高橋ハル子、佐藤キミ子、高橋美都子、赤坂はるい、赤坂キミ子、新田愛穂、志賀寛、片平栄治、大森英紀、佐野キミ子、片平和子、森晴子、菅野さき子、鈴木マサエ
- (国見精養) 本田政子、藤英之、上田末子、石川定良、宮村モト、中木勝馬、半藤敏枝、野崎住次、横山フク、沢後博
- (清水製作所) 佐藤幸夫、鬼地すみえ、土屋弘美、岡水正孝、遠藤俊博、伊藤信正
- (一校治) 佐藤孝子、遠藤信正
- (国見町農協) 佐藤孝子、佐久間利信、高藤孝子
- (国見町役場) 佐藤孝子、佐井市子
- (国見町後援) 佐野芳男、佐久間晴明、奥山隆夫、小池芳男、国分次雄、佐藤和夫、遠藤喜正、菊池富子、佐藤弘利、羽根田孝司、引地由則、藤原浩子
- 十月十六日採血車来町します。愛の献血に、なお一層のご協力を

9月 長月(ながつき)	10月 神無月(かんなづき)
14日・9月定例町議会(18日まで)	1日・赤い羽根運動始まる
15日・敬老の日	8日・寒露
敬老会(町民体育館で)	10日・体育の日
20日・彼岸入り	目の愛護デー
動物愛護週間始まる	12日・芭蕉忌(元禄7)
21日・宮沢賢治忌(昭8)	14日・鉄道記念日
23日・秋分の日	15日・精神衛生デー

台 風 直 撃



一五号のツメ跡



八月二十三日午前八時から十時にかけて、本県を通過した台風十五号は、大きなツメあとを残し、三陸の沖に去っていった。

前日夜半から降った雨は、国見町で一〇ミリの記録し、未曾有の出水によって、中小河川があふれ、所々で決壊した。

また、朝になって吹いた風は、収穫まぎわの桃の実を振り落し、リンゴの青い果実をもぎとり、柿の太木を押し倒した。

台風十五号による町の被害は、農作物被害一億七千六百万円、施設被害九十万円、総額で約一億七千八百万円となった。

被害農家の方には、心からお見舞い申し上げます。

項 目	目被害面積	被害金額(千円)	産業課調
水 稲	一〇ha	一四五	
きゅうり	四〇ha	一四九八七	
りんご	七〇ha	九三、九一七	
も も	七〇ha	一、九、八〇六	
ぶどう	一七〇ha	六、〇〇四	
か き	三〇ha	九、一三八	
桑(かん水)	一〇ha	二、〇〇二	
葉たばこ	二ha	八七七	
樹体被害桃	六ha	三〇、〇八五	
作物被害桃	六ha	一七六、九五五	
ハウス施設	五五戸	五〇〇	
物置屋根	四六戸	四〇〇	
被害総計		一七七、八五五	

台風のシーズン到来

お宅のまわりの電線にご注意!

- ・別荘が雨どいにかまわっていたり、雨水が電線にかかっていたりしていませんか。
- ・風で電線がこすれたり、切れた電線は危険です。すぐ東北電力へお知らせください。



東北電力株式会社

国税たより

◎お年寄りや障害者と税金

国の重要な仕事の一つに社会福祉があり、お年寄りや心身障害者など社会的、経済的に弱い立場にある人に対して、いろいろな施策を行っていますが、税金の面でもいろいろな特典を設けています。

（お年寄り本人が受けられる特典）

年齢が六十五歳以上で、所得が一千円以下のお年寄りは、

① 老年者控除として所得金額から二十一万円が差引かれます。

② 国民年金や厚生年金などの公的年金や恩給を受けている人は、老年者年金特別控除として、それらの収入金額から七十八万円

を差引くことができます。

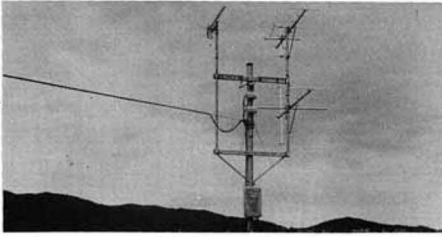
このほかお年寄りを扶養している人が受けられる特典などもあります。

（心身障害者が受けられる特典）

所得税では、納税者本人や扶養家族の中に障害者がいるときは、一人当たり二十一万円を所得金額から差引くことができます。また、物品税では、身体障害者が利用するもので、本人又は家族が運転する小型乗用自動車については、所定の手続によつて物品税の免除が受けられます。

詳しくは最寄りの税務署や税務相談室にお尋ねください。





出来上がったアンテナ

泉田地区で
テレビ受信設備を設置

テレビ受信の困難な泉田地区では、難視聴解消のためのミニサテライト局が八月末完成しました。この事業は泉田テレビ共同受信施設組合(佐藤俊雄組合長)が、総工費二百二十万円をかけて行ったもので、㈱全日本テレビサービス会社が請負、この程引渡しを受けたものです。

今までテレビの像が二重三重に映しだされ、視ている人たちの目を疲れさせていました。「これですっかりこの映像がみられる」と、地区の人たちも大よろこびでした。

10月1日は
省エネルギーの日



〈テレビ〉見ていないときは
消しましょう。

毎月1日は「省エネルギーの日」です

昭和五十七年度
職業訓練生募集

福島県立石川職業訓練校では次の要項により訓練生を募集しています。

訓練科目 定員 備考

建築科 二〇名 養成訓練生のみ

左官科 二〇名 転職者一〇名

応募の手續

○応募資格 中学校・高等学校卒業者(含卒業見込者及転職者)

○入学願書受付開始

昭和五十六年十一月二日(月)

昭和五十六年十一月二十七日(水)

○選考試験日時

昭和五十六年十一月二十七日

午前九時三十分

第一会場
県立石川職業訓練学校

第二会場
郡山公共職業安定所

○試験科目
国語・数学・社会(面接)

○合格発表
昭和五十六年十一月三十日

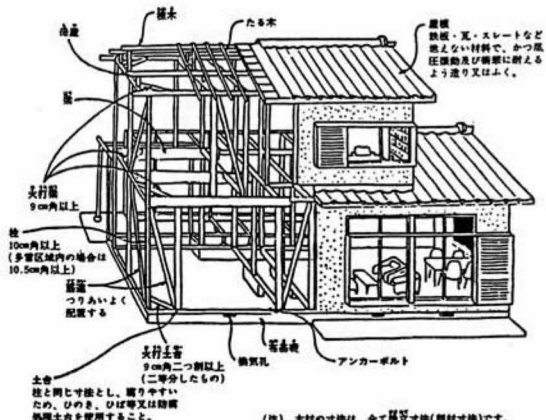
○入学願書提出先
本校又は最寄りの公共職業安定所

※なお転職訓練生募集の受付は、昭和五十七年三月末日まで随時行ないます。

詳しくは本校(電話〇二四七二六一三三三)又は最寄りの公共職業安定所にお問い合わせ下さい。

—トラブルを防ぐための建築主のチェック・ポイント—

—木造住宅の部材名称—



違反建築をなくしましょう

十月十一日から十月十七日までの一週間は違反建築防止週間です。これは、建設省、福島県及四市特定行政庁(福島市、郡山市、いわき市、会津若松市)が市町村と関係団体の協力で行うものです。この目的は、建築基準法の目的、内容について理解を深め、良好な市街地の環境づくりと建築物の質の向上に努めようとするもので、期間中建築活動の多い地域を重点に、一斉公開パトロールが行なわれます。

(注) 木材の寸法は、全て既述寸法(欄外寸法)です。



国見町公民館
電話 26766
4156

昭和五十六年度

町民学校開設のご案内

■第一コース(月曜日)

七宝焼教室

内容 「七宝焼でアクセサリ」を

講師 釉美会福島支部長 栗城周子氏

定員 三十名

時間 午後七時三十分

回数 五回

期日 十月二十六日から毎週月曜日

持参品 筆記用具

材料費 三、〇〇〇円

会場 公民館第一会議室

第二コース(水曜日)

社文ダンス教室

内容 「ダンスの基本と作法」

講師 福島ボールルーム ダンシングサークル 黒羽唯一氏

定員 三十名

時間 午後七時三十分

回数 五回

期日 九時三十分

持参品 シューズ

会場 公民館講堂

第三コース

水墨画教室

内容 「墨絵で心にゆとりを」

講師 翠光会美術研究所長 石原晃美氏

定員 三十名

時間 午後七時三十分

回数 五回

期日 十月二十八日から毎週水曜日

持参品 シューズ

会場 公民館講堂

第四コース(土曜日)

料理教室

内容 「すぐ家庭で役立つ料理」(お惣菜料理)

講師 樋口クッキング アカデミー

定員 三十名

持参品 硯、墨

会場 公民館第一会議室

期日 十月二十二日から毎週水曜日

回数 六回

時間 午後七時三十分

持参品 硯、墨

会場 公民館第一会議室

第五コース(日曜日)

秋の講演会開催

内容 「薬草の利用と健康酒のつくり方」

講師 国見町公民館

期日 九月二十六日(土)

時間 午後一時から

持参品 福島県自然医学顧問 福島県果実の酒友の会 顧問 章氏

会場 公民館第一会議室

持参品 硯、墨

会場 公民館第一会議室

持参品 硯、墨

会場 公民館第一会議室

持参品 硯、墨

時間 午後一時三十分

回数 五回

期日 十月二十四日から毎週土曜日(休館日を除く)

持参品 エプロン、筆記用具

材料費 三、〇〇〇円

会場 公民館料理実習室

持参品 エプロン、筆記用具

材料費 三、〇〇〇円

会場 公民館料理実習室

持参品 エプロン、筆記用具

材料費 三、〇〇〇円

会場 公民館料理実習室

持参品 エプロン、筆記用具

材料費 三、〇〇〇円

会場 公民館料理実習室

持参品 エプロン、筆記用具

材料費 三、〇〇〇円

会場 公民館料理実習室

持参品 エプロン、筆記用具

材料費 三、〇〇〇円

会場 公民館料理実習室

持参品 エプロン、筆記用具

材料費 三、〇〇〇円

会場 公民館料理実習室

持参品 エプロン、筆記用具

材料費 三、〇〇〇円

会場 公民館料理実習室

持参品 エプロン、筆記用具

材料費 三、〇〇〇円

会場 公民館料理実習室

持参品 エプロン、筆記用具

材料費 三、〇〇〇円

会場 公民館料理実習室

持参品 エプロン、筆記用具

材料費 三、〇〇〇円

会場 公民館料理実習室

持参品 エプロン、筆記用具

少年ソフトボール大会終る

少年のスポーツ活動を振興させ心身ともに健全な少年を育成することを目的として去る八月十一日山崎運動広場において開催されました。子供達も日頃の練習を十分発揮し、大人以上のプレーも見られ盛んな拍手が贈られていた。

成績はつぎのとおり

優勝 藤田小本町チーム

準優勝 森江野小Bチーム

第三位 小坂小一部チーム

男女とも

小坂チームが優勝

去る八月二十日(日)

町内の高校生による球技大会を開催いたしました。かつての学舎を思い出しながら熱戦をくりひろげた。

成績は次のとおり。

■男子ソフトボール

優勝 小坂チーム

準優勝 大木チーム

第三位 大木チーム

■女子バレーボール

優勝 小坂チーム

準優勝 藤田Aチーム

第三位 森江野チーム

成績はつぎのとおり

優勝 藤田小本町チーム

準優勝 森江野小Bチーム

第三位 小坂小一部チーム

優勝 小坂チーム

準優勝 藤田Aチーム

第三位 森江野チーム

新刊書紹介

生みすてられた子供たち 上・下

シーフアイ 沢野中耕一

ウルトラおじさん頑張る

山川静夫

女たちの海映

平岩弓枝

隠し剣 孤影抄

藤沢周平



「カーン」打ちました

公民館の図書館



みなさんへ
公民館の図書館
利用がますます増えています。
ぜひ、気軽に公民館の図書館
をご利用下さい。

文化団体紹介

国見町ダンス愛好会

会長 齋藤正美

秋風に、身を踊らせているコスモスにも似て……

かろやかに……そして美しく……

今、私達ダンス愛好会は、ダンスシーズンに向けて猛練習中です。

この会が昨年四月に発足して、早一年と八ヶ月。まだまだ日は浅いけれど内容は濃いと、皆、自負しています。

講師には、桑折町の浅野武先生を迎え、毎週火曜日 午後七時半



ダンスパーティ

から九時半まで公民館の講堂で練習しています。浅野先生は時折おくと見えますが、その度に素敵なダンスを披露して下さいませ。こんな時女性性は女性特有の手の動き等を勉強しようと必至です。こんな風に書くのと、いかにも練習がキツそうですが、中身は和氣藪々ムード。厳しい中にも楽しさが満ちあふれている会です。ただちよと会員が少なめなのが悩みと云えば今の今の悩みで、目下会員募集中。

新生活運動に関するアンケート調査とまる

あなたの家庭では？
問一、あなたは新生活運動についてどの程度知っていますか。
イ、知っている 58.5%
ロ、ちよと知っている 36.5%
ハ、全く知らない 3.3%
ニ、その他 1.7%

問二、新生活運動を町ぐるみで進めることについてどう思いますか。
イ、積極的に進めるべきだ 79.6%
ロ、推進する必要はない 11.4%
ハ、その他 9.0%

問三、あなたは新生活運動の実態に

ついてどう思われますか
イ、積極的に参加する 37.1%
ロ、参入する考えはない 52.3%
ハ、参入する考えはない 4.8%
ニ、その他 5.8%
問四、新生活運動を推進するとしてあなたはまだまず何から先に始めたいと思いますか
イ、香典返しの廃止 24.0%
ロ、結婚式の簡素化 17.5%
ハ、結婚式の簡素化 25.9%
ニ、御中元御歳暮の贈り物 14.6%
ホ、その他 18.0%
問五、お見舞返しについてあなたは
どう思いますか
イ、多少返すべき 38.6%
ロ、札状だけでよい 55.9%
ハ、何も返さない 2.3%
ニ、その他 3.2%
問六、香典返しについてあなたは
どう思いますか
イ、多少返すべき 34.3%
ロ、札状だけでよい 60.0%
ハ、何も返さない 1.4%
ニ、その他 4.3%
問七、仏事花環ポスターのあること
とを知っていますか(農協に
イ、知っている 39.0%
ロ、知らない 57.2%
ハ、その他 3.8%
問八、仏事用花環ポスターの活用
について
イ、今後利用を考える 51.2%
ロ、利用する 10.0%

ハ、全然考えない 25.1%
ニ、その他 13.7%
問八、結婚披露宴の簡素化として
費用を実施することについて
イ、大変よいので実行した方が
よい 43.9%
ロ、従来の習慣にこだわって実
行しにくい 34.9%
ハ、会費制はすすめなくてもよ
い 6.9%
ニ、その他 14.3%
問九、会合の時間の厳守について
イ、常に時間厳守に心がけてい
る 77.9%
ロ、ときどき時間に遅れてしま
う 17.2%
ハ、いつも時間に遅れてしま
う 1.3%
ニ、その他 3.6%
問十、明るく住みよい環境づくり
のため河川等をきれいにす
ることに
イ、ゴミ等をすてないように心
がけている 92.8%
ロ、ときどきすてることがある
4.4%
ハ、すてている 0.4%
ニ、その他 2.4%
問十一、古紙、空ビン等の不用品の
取扱いについて
イ、業者に交換してもらう 33.7%
ロ、家で焼いたりゴミとして出
す 58.8%
ハ、すてている 3.9%
ニ、その他 3.6%

問十二、祝日に国旗を掲げること
について
イ、忘れずに掲げる 14.1%
ロ、ときどき思い出したとき掲
げる 36.8%
ハ、全然掲げない 45.1%
ニ、その他 4.0%

あつがし俳句会

八月 二十二日

- * 蟬の音の一人高き英霊の日 奥山 甲一
- * 百合の香を部屋に残して外出す 藤田 勝衛
- * 踊る輪の赤いたすきの老夫婦 奥山 雨田
- * そととして妻の昼寝の軒かな 佐久間山月
- * 鶯草の飛び立つそぶり朝の風 阿部 亨司
- * 老の日々枯淡の境地秋簾 佐藤 国樞
- * 一病を持ちて夏の日も余す 高橋 仙子
- * ふる里の道すがらなり白芙蓉 赤間はる子
- * 洗い髪梳きてさみしいと握り 森田 栄子

石母田山のクマ退治

九月二日、大字石母田の北部県境に近い團石地内の桃畑で、雄の月の輪クマが御用となりました。



クマを仕留めた駆除隊員

り可愛そう。有害鳥獣駆除隊（佐久間友吉隊長）ではクマが出没し始めた八月下旬から隊を組織して、山沿いの果樹園を中心に見廻りを続けていました。

このクマはまだ乳離れして間もない青年クマで、体長が百六十五センチ、体重五十キロと、まだあどけない感じの幼いクマで、ちよつぱこのクマはまだ乳離れして間もない青年クマで、体長が百六十五センチ、体重五十キロと、まだあどけない感じの幼いクマで、ちよつぱ

東北新幹線

「ひかり」号走る



「ひかり」スマートな全身

この日新幹線を「ひかり」号が走るというので、沿線住民約五十人が思い思いの姿で三三五五、山崎蔵王トンネル北辺の草むらにたむろした。上空には報道関係の飛行機一機とヘリコプター三機、ゴーゴーと轟音をあげていた。トンネルのわきでは、NHKの取材車が陣取り、スピーカーからは、アナウンサーのこ高い声が、絶え間なくわめき散らしていた。

八月二十日、東北新幹線の仙台郡山間で「ひかり」号の試運転が行われた。昭和四十六年十二月から五十六年三月まで約十年の歳月と総工事費二百三億円をかけて、ようやく完成した新幹線を「ひかり」号が走った。

戸籍の窓口

(8月受付分)

出生おめでとうございます

子名 昭沙志 輝子 恵 輔子 和也 也 子 子 名 昭沙志 輝子 恵 輔子 和也 也 子 子 名 昭沙志 輝子 恵 輔子 和也 也 子 子 名 昭沙志 輝子 恵 輔子 和也 也 子

ご結婚おめでとうございます

氏 鈴木 赤 氏 鈴木 赤 氏 鈴木 赤 氏 鈴木 赤

おくやみ申し上げます

氏 地藤 津 浦 城 卷 藤 野 手 氏 地藤 津 浦 城 卷 藤 野 手

人口と世帯

Table with columns for current population, mid-month population, and households. Includes data for males, females, and total population.

トンネル通過予定時間二時十五分、まだ姿をみせない。ジリジリとして待つこと二分あまり、山崎山の路傍に咲く萩の花、そよ風になびく尾花の中の蔵王トンネルから、もの静かに姿を現した通称鼻高美人「ひかり」号の優美な姿に、一見良よと集った住民の間からかん声があがった。

編集日記

〇広い大空のキャンバスにブルーの絵の具を絵皿にといて、大きなハケで一気にぬりつぶしてしまつたようなぬけるような青い空。ところが西の空に一点二点真綿のような白雲が出たと思うまもなく、一面鉛色の空に変わつてしまふ。秋の空はほんとうに氣まぐれである。

〇夜のとりを引く裂くような、すだく虫の声を聞きながら、最後の仕上とコラムに取りかかったまではよかったが、何を血迷つたのか季節はずれの蛙の声。二度三度ケロケロと鳴くののを耳にしたたん今まで芽えていた頭の中も、穴のあいた風船よろしく、スーとしてぼんで鉛色。乞批判。



トンネルから出た鼻高美人

発行・編集 国見町金画 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁目2ノ1 電話九六九一七五 藤田(〇四四八五)二二二(代)